

日本共産党 2017年 4月30日

里吉ゆみ都議事務所だより

〒154-0002 世田谷区太子堂4-5-2 ☎(3419)7721

ベテラン弁護士が親切に対応
生活法律無料相談

5月10日、17日、24日、31日の
水曜日。午後6時～8時 【要予約】

☎(3419)7721、(3427)1225

税金の使い方、大型道路建設からくらし応援に転換を！

里吉事務所主催の道路問題の学習・交流会に40人



4月23日、里吉ゆみ都議事務所と日本共産党世田谷地区委員会の共催で「道路問題学習・交流」を区内で開催し40人が参加しました。

開会あいさつに立った桜井みのる区議は、「区内の都市計画道路計画は19区間、全都で15兆円も税金投入は許されません。各地の活動を学び合い、力にしましょう」とのべました。

中村重美・世田谷自治体問題研究所副理事長（写真右）は、「自民・公明は道路など大型公共事業に大きな財源投入を求め、その財源を徹底した行革で求めている」

「区長が先頭に立つべきは道路事業である」と迫っていることに、環境破壊、住民追い出し、税金ムダ使いと厳しく批判しました。

里吉ゆみ都議（左）は、人口減少や少子化、高齢化、社会保障財源などの増加が見込まれているのに、相変わらず莫大な税金投入はあらためるべきだ。昨年の私の代表質問で、知事は「道路計画を見直す」とのべたのだから、抜本的な作業に入るべきだ。外環道の東名以南推進を自民・公明は求めているが、巨大なムダ使いをストップさせるために、都議選での共産党の躍進で審判を下そう、とのべました。

会場からは8人が発言し、多摩川をまたぐ等々力大橋の全貌について、経堂駅前の商店会を分断する52号線での中止を求めるステッカーづくりなどの運動、防災と言うのなら道路より小型消防車こそふやすべきと一万人の署名を集めた成城地域のとりくみ、公園や保育園を分断する烏山の道路計画に反対するたたかい、井の頭通りの無謀な延伸の問題など、各地域の活動が紹介されました。

6月3日（土）日本共産党街頭演説

小池晃書記局長・参院議員と里吉ゆみ都議がお話しします

みなさん、お誘いあわせてご参加ください。お待ちしております。

三軒茶屋キャロットタワー前、午後2時～3時です

「原発事故・福島は今 パート2」に82人参加

福島原発訴訟原告団長の中島孝さんが講演



4月16日、日本共産党世田谷地区委員会・災害対策委員会（「チーム世田谷」）主催の「原発事故・福島は今 パート2」集会が開かれ、82人が参加しました。

「生業を返せ！地域を返せ！」福島原発訴訟原告団長の中島孝さんの講演では、3・11当時、相馬市では、水道が止まり食事の煮炊きができない困難を解決するために、漁協の2トントラックで水の運搬をしたこと、第一原発1号機が爆発した3月12日には終わりだと感じたなどを生々しく報告しました。

「生業訴訟」では、生業をとりもどす、地域をとりもどすことが裁判の目的であること、23回の公判を通じて国・東電の言い分を完全に論破してきたこと、全国の裁判で初めて裁判官が現地調査を行ったことなど、10月10日の判決は、必ず勝利すると確信を持っていると報告しました。

また、2度と原発事故を起こさせないことが大事であり、そのためには、裁判を通じて運動と世論をいかに作りあげていくか

が大事と強調しました。そのために公正判決を求める署名を全国で100万筆集めること、そのことに世田谷からも力を貸してほしいと訴えました。

里吉ゆみ都議があいさつ

集会には里吉ゆみ都議も参加し、あいさつと都議選に向けての決意をのべました。

また、集会に協力している「さよなら原発世田谷の会」「脱原発を考える会」「さようなら原発烏山の会」の代表からあいさつがあり、福島市在住の斎藤泰さんも福島の現状を語り、「福島切りすて」、原発再稼働で暴走する安倍政権を倒すためにも都議選勝利を訴えました。

